

(1) 2023(令和5)年10月 5日発行

<地域社会の経済発展(米山)月間>

国際ロータリー 第2500地区 第4分区
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第3089回例会記録

日時：2023年 9月28日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン2F

司会：加藤 幸徳 SAA

★開 会 点 鐘：木村一則副会長

★国 歌：－

★Rソング：それこそロータリー

★四つのテスト：－



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ

2023~2024
Weekly Report No.12

10月 委員会担当例会
5日 職業奉仕委員会
(木) 12:30～

10月 クラブフォーラム
12日 地区大会報告
(木) 12:30～

鶴見 誠一郎 RID2500 ガバナーズローガン：今こそ変わる勇気を！さあ、一步前へ
高橋 義昭 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：継続は力なり

会長報告 木村 一則 副会長①

8月28日に開催された遠軽町・バストス市姉妹都市50周年を祝う記念式典に会長代行で出席してきました。

昭和47年に姉妹都市盟約が交わされましたが、バストス市に移住した当時の信太町長の親戚が遠軽を訪れたことがきっかけだったそうです。

その後、昭和49年に山田会員がバストス市を訪問したのが最初の訪問になりました。

平成元年には佐藤好生会員らが町の派遣でホームステイをし、いろいろ苦勞もしながら1~2ヶ月の長期滞在をしたそうです。

ロータリーの関係者が姉妹都市交流のキーマンになっていたことに大きな縁を感じました。

その後は度々バストス市からの訪問団は来ていましたが、遠軽の訪問は途絶えていました。

そのことに気付いた佐々木町長が平成30年にバストスへの訪問を再開し、50周年を迎えた昨年はコロナ禍で記念行事は行えませんでした。晴れて今年は交流が実現しました。

今年は遠軽高校の生徒も訪問団に参加し、将来に渡る交流の架け橋として期待されていました。

交流会ではバストス市の概要について説明もあり、主要産業は養鶏で1日に確か5,000万個の卵を生産・出荷しているそうです。それだけに鳥インフルエンザには警戒しているそうで、副町長の話によると北海道庁の鳥インフルエンザ対策マニュアルを取寄せて持ち帰ったということでした。

バストス訪問団は遠軽を出発したのちに、姉妹都市提携をしている三重県熊野市も訪問するということでした。せっかくの姉妹都市の縁ですので、いつか遠軽・熊野・バストス(サンパウロ)のロータリークラブでも交流が出来ればいいなと思いました。

幹事報告 大西 孝拡 幹事

1. 本日、例会終了後、理事会を開催します。



委員会報告

◇益井 伸也 親睦活動委員長

・10月19日(木)の夜間例会は遠軽青年会議所との交流会です。今年も楽しく親睦を深められるように青年会議所メンバーと相談しながら準備しますので皆様のご出席の方宜しくお願いいたします。

・10月8日(日)は紋別で地区大会・懇親会後、帰ってきて安着祝を準備してしますのでお疲れでしょうがご参加を宜しくお願いいたします。

◇本間 克明 会員(遠軽商工会議所専務理事)

・10月1日えんがる球場で午後1時半からドリムチームと遠軽町選抜チームの試合があります。チケットは事務局で用意させています。

・再度ご紹介します。10月18日(水)、街なか賑わい事業として「遠軽はしご酒」を開催します。町に活気を取り戻すということでご協力戴きたいと思っております。チケット(1枚3,900円)は事務局で用意しています。

【名前等後の○数字は写真の番号】

本日のプログラム 会員卓話

アイヌについて

メディア委員会 佐藤 直也 君②

アイヌの成り立ち。

- 1・縄文人（擦文人）
- 2・縄文人（擦文人）とオホーツク人の混血
- 3・西暦300年頃、あるいは1200年代後半に北海道に北方からやって来た

1はアイヌのミトコンドリアDNAには縄文人にはない北方系の遺伝子がある。よって1はありえない。オホーツク人は北方系の民族なので2はありえる。しかし母体となったはずの擦文文化の特徴（土器と漆器作り、農業、竪穴式住居、墓参り等）を持たない（木椀の使用、漆は使えない、トリカブトの毒の使用、農業はほとんどしない、墓参りをしない）。オホーツク人は10世紀ころには滅びたので、アイヌ文化の成立と時期が合わない。2の可能性は低い。3は元の歴史書に記録がある。1263年にアムール川領域にいたギレミ族をアイヌが襲った。ギレミ族は服属していたモンゴルに助けを求め、モンゴルは軍隊を送って2度に渡ってアイヌを追い払った。モンゴル兵に追われたアイヌがこの時北海道に来たのかもしれない。

鎌倉時代の初めに津軽安藤氏が蝦夷の現地代官に任命され室町時代に続く。そのころ函館から上ノ国町にかけての沿岸部に12の館（城郭）があり安藤氏に服属。1457年、コマシャインが中心になって蜂起し10の館を滅ぼした。

武田信広が防衛隊を指揮し、コマシャイン親子を打ち取る。この乱で数千人の和人が殺されたのではないかと。その後蠣崎氏（武田信広の子孫）は秀吉からも家康からも北海道の支配を認められ松前氏を名のようになる。

1600年代のシャクシャインの乱。

シャクシャインには27丁の鉄砲があり倶知安に至る道筋で次々と和人を虐殺しながら進軍した。松前藩は南部藩などから鉄砲や人員を借り、70数丁の鉄砲をそろえて倶知安のあたりで迎え撃ち撃退した。虐殺された和人は400人を超える。

国後目梨の乱。

国後に作られた魚の工場、待遇に不満だったアイヌたちが蜂起し71名の和人を虐殺した事件。

アイヌの社会は超格差社会で酋長が絶対的な存在。酋長とその一族以外は奴隷扱い（シャクシャインが毒入りの酒を配下の者に飲ませた。シャクシャインの妻は84人。部族の富が酋長に集まる仕組みがありシャクシャインは27丁もの鉄砲。200振りの日本刀を持っていた酋長たち）。待遇に不満ならば酋長に訴えるべき。それができないので酋長が留守の時を狙って蜂起。酋長の了解の元37名が処刑された。

明治の時代。困窮するアイヌのために「旧土人保護法」が制定。バチュラー八重子氏の詩によってその実態がわかる。

知里真志保先生（アイヌ出身で東大卒後北大の教授としてアイヌ語の研究に生涯を捧げた。アイヌからも尊敬を集めていた）は「明治にアイヌ民族はいなくなった。アイヌたちはすでに和人の文化の中で生活していてアイヌ文化は滅びた。今や日本には日本民族しかいなく、アイヌ系日本人がいるだけである」「観光にアイヌを使わないでほしい」などの発言をしている。

アイヌ協会役員幹部の言行。

2007年、国連による「先住民族の権利に関する国際連合宣言」。アメリカのインディアンやオーストラリアのアボリジニを想定。

2008年、アイヌ先住民決議。

2009年、川村兼一旭川アイヌ協議会会長らが内閣官房アイヌ政策推進室に「アイヌに天皇と政府からお詫びを表明したうえで、北海道の土地と資源を返せ。そこをアイヌ自治区として認めよ。賠償として5兆円よこせ」などと要求。川村氏は国際少数民族の大会で「アイヌは明治以降ずっと差別され迫害され続けてきて、それが今でも続いている」と発言。

2018年、プーチン氏「アイヌはロシアの先住民族である」。

2019年、紋別アイヌ協会長 畠山敏氏、札幌アイヌ協会元支部長 石井ポンペ氏「千島諸島をアイヌ民族の自治区にし、一体的に知床半島の保安全管理を検討してください」との要望書をプーチンに送る。

2022年、セルゲイミロノフ下院議員「ロシアは北海道に権利を持つ」。

アイヌ協会の元副理事長阿部一司氏は「主体思想研究会」の創立メンバー。

ニコニコ BOX 益井 伸也 親睦活動委員長

乾 禧實君 結婚記念日 5,000円

2023-24年度合計 158,000円

☆閉会点鐘:木村一則副会長☆今号会報担当:石井朋子委員

2023-24_12th-02

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行：メディア委員会
須藤順一 出席委員長	9月21日	43	41	23	10	80.5%		委員長：東海林勉 副委員長：佐藤直也
	9月28日	43	41	29		70.7%		委員：石井朋子 植村涼子 奥山雅行 棚橋 忠 山田荘一

2023-2024年度 国際ロータリー

会長：ゴードン R. マッキナリー(スコットランド)
第2500地区ガバナー：鶴見 誠一郎(紋別港RC)
第4分区分ガバナー補佐：伊藤 晴之(紋別RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：高橋義昭 副会長：木村一則
会長エレクト：乾 淳 幹事：大西孝弘
会計：島田光隆 S A A：加藤幸徳
直前会長：高井一博 事務局員：岡本奈津美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

